

第7回安佐市民病院跡地活用検討協議会議事録

1 日 時 平成28年8月19日（金） 午後2時00分～午後3時30分

2 場 所 安佐北区役所4階講堂

3 出席者（五十音順（市職員を除く）、敬称略）

岩重 守（安佐北区コミュニティ交流協議会副会長）

大畠 正彦（安佐北区コミュニティ交流協議会会長）

尾田 豊機（安佐北区コミュニティ交流協議会副会長）

中平 吉子（安佐北区コミュニティ交流協議会副会長）

坊 聡彦（可部地域町内会自治会連絡協議会幹事）

松井 修（可部地域町内会自治会連絡協議会幹事）

向井 文武（安佐北区コミュニティ交流協議会副会長）

阪谷 幸春（広島市企画総務局企画調整部長）

木村 栄治（広島市安佐北区役所副区長）

4 議 事

- (1) 若い世代を対象としたアンケート調査結果等について
- (2) 跡地に導入する施設・機能の絞込みについて

5 議事内容 以下のとおり。

< 開 会 >

大畠座長

それでは、定刻となりましたので、ただ今から、「第7回安佐市民病院跡地活用検討協議会」を開会します。

皆様方、非常に暑い中、当協議会に参加いただきまして誠にありがとうございます。

そういう中で今日は、議員の方、傍聴の方もたくさん御出でになっています。

この協議会も5月末に開催して3カ月近く会議はありませんでしたが、その間に議事にもあります「若い世代を対象としたアンケート調査」を実施して事務局にまとめていただいています。その他、可部南、高陽地域でもアンケート等、皆さまにも様々な活動をしていただきましたことに感謝申し上げます。

議事に入る前に、座長として皆さんに申し上げたいことがあります。

これは、安佐北区の議員の方が市政報告という形で、この協議会を愚弄するような記事が載せられています。その内容は、我々にとっても重要なものですので、紹介させていただきます。

「跡地活用策の真剣な議論を」というタイトルであります。これは、市政報告の一つの項目ですけど、その中に、「もう一方、跡地活用も地元住民の幅広い意見を汲むという前提が影をひそめてしまったようです。可部、安佐、高陽、白木の4地域のコミュニティ交流協議会代表、可部地区の2町内会の会長らで、昨年結成された跡地活用検討協議会の意見集約の詰めの段階に入っているにもかかわらず、成果が上がっていないようです。私は、オブザーバーの立場でこの協議会に出席していますが、議論が

盛り上がっているようには見えません。地域の声を反映させるという空気ではなく、個人的な意見が目立ちます。この点を一般質問で尋ねましたのに対し、『今の段階では、地域の実情に詳しく、まちづくりの豊富な知識と経験を有する協議会委員の皆さんからの御意見をいただいているところです。跡地活用策は、本市が責任を持って策定します。』と答弁されています。」

これは、岡村企画総務局長の答弁と思います。

「協議会を後ろ盾に、思惑に沿った市の方針だけにさせてはならないのではないかと思います。」

というような、記事が掲載されています。このように我々の活動の成果が上がっていないとか、議論が盛り上がっていないというような記事は、我々の活動を全く理解しておらず、このような記事を区民に流して何の意味があるのか、あるいは別の意図があつてのことかと疑わざるを得ないような内容と私は思っています。ほかにも、安佐市民病院の跡地活用に関して不可解な記事が記載されています。

議員の資質が問われるものと感じています。皆さまが地道な行動を行って成果を上げているのに対し、本協議会を預かる座長として、強く憤りを感じています。

本協議会では、引き続き、皆さまの活発な意見交換や議論を行い、「自分たちのまちは自分たちで創る」という気持ちで臨んでまいりますので、御協力をよろしくお願い致します。

それでは、早速ですが議事に入らせていただきます。

本日の1番目の議事は「若い世代を対象としたアンケート調査結果等について」です。前回の協議会において、将来、跡地に導入する施設・機能を利用することになる若い世代からの意見も参考にすべきではないかと、委員の皆さんの意見が一致したことから、事務局にアンケート調査を実施してもらいました。

まずは、アンケートに御協力いただいた関係者の方、特に安佐北区のPTAの方に対しまして協議会を代表して、厚くお礼を申し上げたいと思います。

それでは、その調査の結果を資料1にまとめております。事務局から報告をお願いします。

事務局

事務局の方から報告するに当たり、事務的な部分で座長に御確認をしたいことがございます。

本協議会の公開に関する取扱要領の中に、傍聴人が守るべき事項という項目がありまして、その中に傍聴人は「写真撮影、録画、録音等は行わないこと。ただし、座長の許可を得た場合を除く。」という項目がございます。

今日、傍聴を行っている方で撮影を行っている方がいらっしゃいますので、その許可の手続きを行っていただければと思います。

よろしくお願いします。

大畠座長

今、事務局の方からありました件について、皆さんどのように思いますか。

(委員から意見なし。)

特に異議は無いようですからそのまま結構です。

事務局

ありがとうございました。

それでは、本来の議事に戻りまして、議事1の「若い世代を対象としたアンケート調査結果等について」を報告させていただきます。

(「資料1 若い世代を対象としたアンケート調査結果等について」説明)(政策企画課)

大畠座長

ありがとうございました。

たくさんの資料をまとめていただきました。事務局に感謝いたします。

今のアンケート調査の結果について、皆様方の御意見があればうかがいたいと思います。

今すぐ意見をと云っても難しいかもしれませんが、可部南小学校の保護者の方からの意見が出ています。松井委員どのような感想をお持ちですか。

松井委員 この協議会で議論してきた内容に則したもので、やはりお母さん方の若い世代の思いが集約した結果が出ていると思います。
 これまでの私たちの議論と同じようなところもありますので、若い世代も年寄りも思いは同じなんだなと思いました。
 やはりこうしたアンケートをみると、単独施設ではなく、思いを通じるところを踏み込めば敷地面積の限られた中では複合施設を考えるべきだと強く思いました。
 その複合施設の中に皆さんの思いをスペースごとに割振りすれば、それぞれの思いが集約できるのではないかと思います。以上です。

大畠座長 ありがとうございます。
 その他の何かアンケートについて御意見ございますか。
 無いようでしたら、後程、総括と言う形でいろいろ議論いただくことになろうかと思えます。
 次に、高陽地域においてアンケートを実施したと伺っております。向井委員、よろしくをお願いします。

向井委員 （「高陽地区安佐市民病院跡地活用アンケート結果」説明）

大畠座長 たいへんなアンケートをまとめていただきまして、ありがとうございます。
 この向井委員の御説明に対して何か御意見ありますか。

尾田委員 私は安佐地域ですが、高陽地域の意見は、やはり可部を離れると、こういった文化ホールや看護系の学校だとか、そういうものを欲する意見が多いわけです。
 可部地域の方からみれば、例えば産直市が欲しいだとか子どもが遊べる場所が欲しいだとか近場の意見は出てきますが、安佐地域にしても高陽地域にしても可部を離れると、やはり一般的にみんなが利用できるものが欲しいというのが、高陽地域のアンケートから私が最初に感じたような数字が出たのではないかと、そういうふうに感じます。

大畠座長 ありがとうございます。その他、何か御意見ありますか。
 それでは、こうしたたくさんの意見をいただきました。
 アンケートの結果では、「子育て世帯向けの公園・イベント広場」、「子ども向け施設」、「保育施設」といった意見が上位に挙がっています。
 それから今、向井委員からもありましたように、「文化ホール・図書館」や「看護系・医療技術系、福祉系の学校」が、跡地にふさわしいのではないかという意見が、アンケートではでていました。
 こうした意見を大いに参考にしながら、これから協議会として意見をまとめていくに当たりまして、今回の意見だけを結果とするのではなくて、この協議会も昨年の12月から始まっていて、1回目から我々はいろいろ議論をしてきています。
 その議論したことを踏まえて、どういったものが跡地にふさわしいのかということを考えていかなければいけないと思います。
 そこで、次の議題、「跡地に導入する施設・機能の絞込みについて」に入ろうと思います。事務局の方から何か資料はありますか。

事務局 これからの議論に当たりましては、お配りしている資料で、資料2ですが、「これまでの協議会で整理された施設・機能（12項目）」というA4の資料がございますけども、こちらをお手元に置きながら話を進めていただければ、大体イメージができるのかなと思っています。

大畠座長 ありがとうございます。
 今、事務局からありましたように、資料2と先ほどから出ておりました12項目、これらを含めまして皆様方に意見をいただきたいと思いますので、よろしくお願いします。
 この今までの結果と今回の結果、総合的にみて絞込みの段階で皆様方からの自由な意見をうかがって、まとめていきたいと思っておりますので、何か御意見のある方は言っていただければと思います。

坊 委 員

今、座長の方から総括されてですね、「子育て世帯向けの公園・イベント広場」、あるいは「子ども向け施設」、あるいは「保育施設」この3項目が、若い世代からの意見として上位を占めたと、これは強い要望と受け止める必要があるものと思います。それと、これまでの協議会でいろいろ議論してきた中に「文化ホール・図書館」、あるいは「看護系・医療技術系、福祉系の学校」という2項目については、多くの方から賛同の得られた強い意見だと思っていますので、これも絞込みの中に入れる必要があると思います。

さらには、「屋根付き野外ステージ」とか、それから先ほど高陽地域からも強くありました「産直市場」のこうした2項目は、公園・イベント広場の機能の一部として整理できるのではないかと。

加えてですね、やっぱりせっかくこれだけの施設もあるわけですし「コミュニティセンター」は、PTAのアンケート調査の結果では、少数意見にはなっていますが、これまで協議会で多く出された意見でもあるし、大規模な施設ではないとしても、地域住民が自由に活動できるスペースは必要ではないかなと思いますので、北館あたりがどのように活用できるかということもあるかと思いますが、そういったところも総合的に含めて検討したいということで、私としては、以上の8つの施設、機能に絞ってみてはどうかということをご提案したいと思います。

大畠座長

ありがとうございました。
その他の方で総合的に御意見があればお願いします。

尾田委員

これを一つ二つに絞るというのは非常に難しいと思います。

そういった意味で松井委員が言われたような複合施設ですか、何件か入るような施設、複合ビルといったものに最終的にはなってくるのではないかと、だから1階をどうする、2階をどうする、3階をどうするという形で最低限でも三つ、四つくらいの要望が入るような形のものが私はふさわしいのではなかろうかと思います。

そういう意味では、特に文化センターとか文化ホールですね、図書館、こういったものを含めたものがいんだと私は思います。

それからもう一つは、医療系の学校と言うことになりますと、学校側の意見に相当左右されると思うのですが、前回の意見でも最終的にことはなかなか言えない、その場になってみないと分からないという意見からも看護系（の学校）というのはちょっと不安があります。

大畠座長

今回の12項目の中から絞込みというのがどういう絞り込みかというのがあろうかと思います。

次回に向けての方向付けもしないといけないので、12項目そのものの全てを市の方に出すというのは、これは無理があるかと思いますが、そういうところも踏まえながらその他の方の意見も伺ってみたいと思います。

向井委員、高陽地域の意見はあったのですが、全体的に見て感想はどういう思いですか。

向井委員

高陽の方から出た意見の中では、大分類（望ましい施設として1位から3位までに挙げた人数）では福祉学校が1番で、2番目が文化ホールと、次に同じ2位で子育て世代向けの公園、それから産直市が同じ2番目です。

大分類としてはそうしたものが欲しいよと、これを点数別（1位を3点、2位を2点、3位を1点として各施設・機能ごとに人数を乗じて集計）にみると、文化ホールが1番、それから看護系の学校が2番で17点となって、そして次に欲しいと言われるのが子育て世代向けの公園という中で、次が産直市場というふうなことになるわけですが、尾田委員が言われているように、複合的なものがやはり欲しいのではなかろうかと思います。

尾田委員からも話がありました文化ホールというようなことにつきましては、高陽にはそういうものが無いという中で、近くにできたらいいよねというような意見だと思っています。

- 大島座長 ありがとうございます。
P T Aの方へのアンケートでは、文化ホールというのは6 番目くらいでしたが、そういうところもあるかと思います。
岩重委員、何かございますか。
- 岩重委員 私は、今までから思っていたように、やっぱり、子育て世帯向けの公園や子ども向けの施設が複合施設として、レストランや産直市というものを、3 つ、4 つを一緒にした安佐北区の住民みんなが集まって喜んでいただけるような潤いのある施設がいいのではないのかなと、私は初めから大体そういうような意見できているのですが、やはり、アンケートの結果を見て、そういうような結果が出ているのではないかなと私は思っています。
ですからある程度の複合施設で、何個かの施設を取り入れて区民なり、近隣の住民が楽しくいつでも遊んで帰れる、子ども連れで今までは三次まで行かないと無かったものが安佐北区内でも楽しめるところがあるというのが今まで無かったのではないかなと思います。
花みどり公園がありますが、あそこも少し不便で、私は再々は行っておりませんというようなこともありますので、その辺りも考えていただいて複合施設で潤いのある場所にして欲しいと思います。
- 大島座長 ありがとうございます。
それでは、中平委員、女性の立場から何かございますか。
- 中平委員 アンケートの結果を見まして、とても熱心な答えを出してくださっているのにすごく感動しました。
それで、このアンケートの中で、【参考資料 2】の 5 ページの幅広い世代の利用に関する意見の(ク)ですが、「子育て世帯向けの公園・イベント広場と文化ホール・図書館が一緒になったら、どの世代の方も訪れると思う。小さい子どもが若い世代の親と遊びに来て、主婦の方は食べ物（野菜）などを買いに来る。年配の方も小さい子が楽しく遊んでいる姿を見て、嬉しいと思う。」というこの方の自由意見に、これまで私が言ってきたことをまとめて言ってくれていると思います。
それで私は、1 2 項目の中の「看護系・医療技術系、福祉系の学校」は、無しにさせていただきます。
それで、8 番目までが一緒になった複合施設がいいと思います。
この前、「子ども・子育て会議」というものに出させていただいたんですが、冒険広場というものを市が進めているという話を聞きました。
冒険広場と言ったらちょっと広くないといけないかなと思ったんですけども、そんなことも入れながら 1 番から 8 番まで全部一緒になったものを作って、それに駐車場を作っていけばいいと感じます。
アンケートには、本当に熱心に答えてくださって、本当にありがたいと思いました。
以上です。
- 大島座長 はい、ありがとうございます。
他に何か。はいどうぞ。
- 坊 委 員 ちょっといいですか、いま跡地 2 ヘクタールの議論をしておられるんだろうと思うのですが、皆さんの意見を聞いているとですね。
北館も当然、一般に開放する所ができるだろうと思うんです。図書棟あたりも、もうあそこは利用しないというふうに聞いておりますので、そういった所。あるいはリハビリを行っている所が地域に開放できるところがあるのであれば、そういった絞り込みの中で、そういう所も少し利用させていただいてですね、そして皆さんがアンケートに非常に熱心に答えていただいているわけですから、その声というのは我々としても無視するわけにはいかないわけですから、そこのところを十分組み込んで考えないと、ただ 2 ヘクタールだけのことを考えておくのでは非常に難しいのではないかと思いますので、北館も含めて考えていけたらいいのではないかと思います。
- 大島座長 ありがとうございます。
北館についての説明は、明後日の 2 1 日からの説明会あたりであろうかと思いますけ

れども、いま坊委員が言われたことについて、病院の方から何かありますか。

事務局

資料3を御覧いただきたいと思うのですが、北館のレイアウトをお示ししたものをお付けしております。アンケートの参考資料の中に、北館に整備する病院のレイアウト、それから建物の配置計画案というのをお付けさせていただいています。

実はこれは以前の地元説明会で北館に整備する病院機能等をご紹介したものでございます。左側が階層別のレイアウトを示しておりまして、元々北館部分にはベッド数でいえば200床、現在ベッドを入れておりますから、それを今の計画では77床のベッドを入れようということになります。

ですから箱的にはかなり余裕がありますので、病院機能以外、②地域包括ケア拠点、行政機能でありますとか、医療従事者養成機能といったものを合わせて整備してはどうかと検討しております。

レイアウトをこのように使いたいとは思っておりますが、延床が1万平米ある建物ですので、坊委員の言われたようにそれ以外が入らないのかということになれば、まだ検討の余地はあろうと思います。

それから右側が、建物の配置計画で、坊委員が言われましたのが、ちょうど北館病院の左側にちょっと出っ張った単独の四角があろうと思います。これが現在図書館棟として使っております2階建ての建物でございます。これは新しく作った建物ですから、まだ使えますので、ここにつきましては十分に地域の皆さんに開放することはできるものにはなろうと思います。

こういった北館の病院の建物内でもまだ少し余裕があるという状況は確かにありますので、これまでの御議論でそういった方向で少し検討してほしいということであれば、このレイアウトを少し見直してみることはできると思います。以上です。

(広島市立病院機構 安佐市民病院整備室)

大畠座長

はい、ありがとうございました。

ですから、2ヘクタール以外にもそういう所が整備できるということになると、今ある12項目の何かがそこに入り込めるという余地はあろうかということになりますね。

ですから今日のところは、アンケートの12項目と、それから以前から我々が議論してきた12項目等々踏まえての話ですから、そこで絞り込むということはまた次回にするとしまして、皆さんの意見を聞いて、事務局の方で再度まとめていただいて次回提案するということになろうかと思います。

そういう中で意見を聞きたいのですが、松井委員、高陽含めた、前回からの意見として全体を見ての御意見があれば。

松井委員

絞り込みは次回にするにしても、3つ4つ主たるものがもう出てきているわけですから、それらをまず、皆さんの意見を集約するには、要望をまとめるには、やっぱり複合ビル構想でこれを解決していく方向が一番ベターで、もちろん駐車場等というものも必要になろうかと思いますし、それらの複合ビルと駐車場の空きスペースについては緑地を設ければ、子ども広場も遊び広場もできる可能性もあるしということで、総合的に考えれば、複合ビル構想を打ち出すという方向付けが考えられるのではないかと思います。

それと北館のレイアウトを拝見いたしますと、医療従事者養成というものもあるのですが、これは准看学校養成施設をここに抱き込むという考えでよろしいのですか。

やはりこういった一つのビルの中にどれほどの機能を設けるということになれば、大学は2ヘクタール欲しいというわけですが、複合ビルにすれば、そのビルの2階、3階4階あるいは2フロア3フロアあたりを医療系・看護系の学部を収容するようなことも可能だということ。

問題はその取得する側の思いがどうしても2ヘクタールとなると、我々の発想とはかみ合わないわけですから。

いずれにしてもここまで絞り込んできた皆様の思いを叶えるのは複合ビル構想、それから北館にいま残っている図書棟、これを有効活用する方向も十分考えられますので、絞り込みの段階で皆さんが北館整備の中に一つ、いまあるレイアウトを見直していただくような方向性にしていけば、まとまったものにできるのではないかと思います。

す。以上です。

大畠座長

ありがとうございました。
色々意見が出ておりますが、その他に何かございますか。

尾田委員

色々御意見が出ているわけでございますけれども、複合施設という意見もあります。その場合、私が一番市にお願いしたいのは、以前の会合のときに、いわゆる区民文化センター・ホールですね。こういったものは今はまだ耐用年数があってできないというふうな形で、市の方針としておっしゃいましたけど、ここにきましたら、やはりそういった文化ホールを含めた意見もたくさん出ているわけですから、それを真摯に受け入れていただいて、これはいわゆる他の区との関係もあってできないという御意見もあったわけですが、そういうことも安佐北区の文化ホールが一番先にできているわけですから、他の文化ホールと比べたら施設的にも劣っているというところも考えていただいて、文化ホールの的なものは今は考えられないんだという考え、方向性は、また我々の意見を真摯に受け止めていただいて、前向きに検討していただきたい。これが希望でございます。

大畠座長

はい、ありがとうございました。
文化ホール、要するに区民文化センターはなかなか難しいというところがありますので、そのことも含めて、今回のアンケート全体に関しまして行政の方から何か一言感想をお願いしたいと思います。

阪谷委員

ありがとうございます。まず、先ほど向井会長から御報告いただきましたけれども、これで全て4地域の皆様の御意見を伺うことができましたし、若い世代の方の御意見、これも本当に皆さん色々お考えになって御意見を出していらっしゃるの、しっかり市としては受け止めたいと考えています。
そして、複合化の構想であるとか、先ほど尾田委員もおっしゃいましたけれども、文化ホールの意見についても一旦この前も御説明しましたけれども、皆さんの強い思いをこの協議会の意見として市の方に出していただきたいと思っています。
市の方で一旦受け止めさせていただいて、しっかり考えてまいります。
あと一点、先ほど大畠座長からありましたけれども、跡地に導入する施設・機能の絞り込みということですので、坊委員からも御提案のありました8項目の絞り込み、あるいは中平委員から項目の絞り込みがありました。
私どもとしましては皆様からできるだけ早めに意見の整理をお願いしながら、できれば今日この議事について絞り込みをするようになっておりますので、もう少し皆さんで御協議いただいて、ある程度の絞り込みの御意見を頂いて、次のステップにいければと思っております。引き続き御協議のほどよろしくお願いいたします。

大畠座長

木村委員さん、アンケート等々の感想、意見等ありましたらお願いします。

木村委員

もともとこの議論は可部自治連の提案を基にやろうということ、それに各委員さんのこれまでの発言とさっきありましたアンケートの結果、それらを踏まえていくとおのずと絞り込みの方向は決まってこようと、逆に言うと何をじゃあ落そうかというところになるのだらうと思いますので、また引き続き議論いただきたいと思います。
先程、中平委員さんが言われたアンケートに細かいいろいろなアイデアが入っていますので、今後絞り込んだ中で、これをいかしていければいいなと思っているところでです。以上です。

大畠座長

いろいろ意見が出まして、絞り込みいうことをどのように捉えて絞り込むかということがあろうかと思います。
先程言いましたように、当初は12項目の中から何項目かに絞っていくと。さっきも言われましたように何項目かは今回の絞り込みから外れるということになろうかと思います。そこらあたりのことを踏まえて、どなかた意見があれば再度お願いしたいと思います。
アンケートの結果、あるいは従来からの結果を見れば、だいたい絞り込まれたという

か、どの程度までというのは出ようかと思います。そこらあたりで何か皆さんの御意見があればお聞きして、次回の方角付けをしていただきたいと思いますと考えますけど。

尾田委員

この中で看護系のいわゆる医療技術系の学校ということですが、複合施設にした場合、松井委員が言われたように本当に入ってくれるかどうか、これはやはり、学校側に予め確認していただいて、複合施設の中の学校では困りますと言われるのか、それで何とかしようと言うのか、そのへんのところを学校側に、2ヘクタールというのは難しいわけですから、こういった施設で話が出ているが、複合施設でも学校側は受け入れていただけるのかどうか、そのへんのところをニュアンスを掴んでいただかないと、最終的な絞り込みから外すかどうか、なかなか結論付けは難しいと思います。その点、事務局で再度確認していただきたいと思いますというのをお願いしたいと思います。

大畠座長

色々意見が出て、絞り込みをという定義を皆様方も色々な面で思いがあらうかと思います。複合施設といった時に、そこの中にこういったものを絞り込んでいくかということもあらうかと思います。そういう中で今日御議論いただきました。それから従来からの項目も出てきております。その中から、意見を聞かせていただいて、座長としましては次の8項目について検討していくための資料作りを事務局にお願いしたいと思います。それは、PTAといいますか若い世代に多かった、子育て世帯向けの公園・イベント広場、それから子ども向け施設、この2つは関わりがあらうかと。それから保育施設、この3つは若い方々には切実な問題もあらうかと思います。その中で複合的なものを見たときに、高齢者もそこで利用できるというようなことでもあらうかと思います。それから、文化ホール・図書館というこの会の懸案事項でございます。そこもやはり検討にいれないといけないのではないかと。それと学校、これは看護系・医療技術系・福祉系の学校ということ。それから屋根付きの野外ステージと産直市というようなもの、産直市は白木の岩重会長が非常に言われていますし、専門的な立場で見られれば、やはりこれは安佐北に必要であらうと考えるということ。それと、コミュニティセンター、この8つを次回の議論にするために、事務局の方で色々今日皆さんの御議論の中からのものを盛り込んだもので作っていただくということにさせていただいてよろしいですか。

(各委員から了承の声あり。)

では、そういった方向で事務局よろしいでしょうか。

事務局

分かりました。ありがとうございます。今の皆様の御議論を踏まえて座長の方から総括的に8つの施設・機能ということで御意見いただきました。最終的に協議会の方からどのような意見としていただくか最終的なイメージを、次回事務局で資料作成いたします。この協議会もいつまでも開かれるものではないと思っていますので、それをもって、最終的なとりまとめに向けて、御議論いただければと思っております。

大畠座長

ぜひよろしく申し上げます。次回は、先ほど事務局からありましたように、今日皆さんに出していただいた、決めていただいた8つの項目について詳細にわたって議論していくということにいたしますので、その資料作りをまたお願いします。最終的にはその中から、8項目全て市に提出するか、あるいはもうちょっと絞り込むかというようなことにもなるかと思います。そこらあたりも、十分皆様方もこの8項目について調査をしていただきまして、今回のアンケートにたくさんの思いが詰まっております。私はある方から言われたのですが、アンケートは宝物であると、その宝物を生かすかは使う者の立場であると教わったことがあります。

ぜひ今回の若い方々の意見というのは参考にさせていただいて、次回の議論を行っていただければと思っております。

それでは本日の議事につきましては以上であります。次回は9月に行いたいと思います。皆さんの都合があらうかと思いますが、できれば9月13日火曜日の午前中かあるいは午後はどのようなでしょうか。都合が悪い方はいますか。

(各委員から候補日の予定について発言あり。)

では、差し支えがなかったら9月13日10時からということによろしいですか。社協をやっておられる方は敬老会で忙しいと思いますけれども、ぜひお願いしたいと思います。

これで議論を終わろうと思いますが、事務局の方から何かございますか。

事務局

1点確認させていただきたいのですが、先ほど北館の一部を地域の方が使われるようなことができないかという御意見があったかと思えます。

それに対して私の方から、少し余裕があるのでそういった余地はありますとお答えしたのですが、協議会の議論として、北館のスペースも活用し、そこも使って色んなアンケートで意見が出ているようなものも実現をはかる、そういった方向ということによろしいでしょうか。

何が申し上げたいかといいますと、この図面で地域の皆様に一旦御説明していますので、そういった新しい要素をもし北館の中に取り入れるのであれば、できれば21日の日曜日から行います3回目の説明会で、そこらあたりを少し触れさせていただいた方がいいのではないかと考えています。

従いまして、この協議会の場として今日の議論を踏まえて、北館の方にそういった機能を入れることも検討しろという結論をいただければ、説明会でもそういった言い方をさせていただければと思っております。

そこのご判断をお願いしたいと思えます。

(広島市立病院機構 安佐市民病院整備室)

大島座長

そのようにひとつお願いします。

いろいろな意見の中で複合的なものというものがあつた場合に、そこは一つのものにはまり込まないときには、行政の方、役所の中で御検討いただくということにもなろうかと思えますので、そこらあたりは我々の方もそういう方向もあるということも踏まえて検討するということにさせてもらいたいと思えます。

ですから、明後日からの説明会では、そういう意味を含んだものでしていただいてもいいのではないかと思います。

他に無いようでしたら、これで終わりたいと思えます。

長時間ありがとうございました。

< 閉 会 >